

「ありがとう!」をつたえたい!

みなさまにご協力いただいた共同募金は、地域でのつながりや交流を育む取り組みに活用されています。気軽に集まれる身近な居場所づくりの支援を継続して行っています。

ふれあい山ノ神(岩滑東町)

「岩滑東町の人たちが集まれる場を作ろう!」という思いから始めた場所探し。ああでもない、こうでもないで試行錯誤しながらたどり着いたところが、山ノ神(神社)でした。神社の境内にある拝殿を利用して、みんなで手作りしたサロン。地元の電器屋さんにも協力してもらい、エアコンも取り付けました。

ここには、水道もトイレ也没有。1時間ほどワイワイと過ごして、お手洗いにいきたくなくなるのが解散どき。そんなゆるやかな時間が流れています。

日時：毎月第3火曜日 午前10時～11時ごろ
場所：山ノ神社境内 (半田市岩滑東町3-96)



代表 瀬尾さんの「ありがとう!」

まずひとこと、ありがとうございます。募金があって、この活動が始まりました。ふれあい山ノ神では、バルーンアート、三味線やハーモニカなどの楽器演奏会、ビンゴゲームなど、さまざまなイベントを開催して、参加者のみなさんに楽しんでもらえるよう工夫しています。ときにはお抹茶の会と称して、参加者のみなさんが私たちに抹茶を立ててくれる日もあり、おたがいに笑顔で過ごせることが、一番嬉しく思っています。

みなさまの募金があって、このサロンが運営できています。そして、参加者のみなさんに喜んでいただいています。これからも継続して、岩滑で元気に過ごしてもらえるように活動します。本当にありがとうございます!

インタビュー動画をつくりました!

サロンの様子や代表の方のお話を動画でご覧ください!

地域のふれあいいきいきサロンは、みなさまのお越しをお待ちしています。

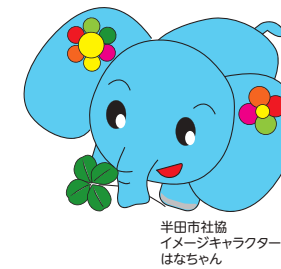


インタビュー動画はこちらをご覧ください!



半田市社会福祉協議会 公式LINEはこちら

ふくしや暮らしに関するさまざまな情報を配信しています。友達登録をお願いします!



はなちゃん通信

254号

半田市社会福祉協議会だより



半田市の赤い羽根共同募金

みなさまの募金が、
半田市の笑顔と
地域の絆をつなぎます。

募金活動期間

赤い羽根共同募金	令和7年10月1日～12月31日
歳末たすけあい募金	令和7年12月1日～12月31日

募金活動期間は上記のとおりです。半田市では、自治区を通して募金のお願いをさせていただいているため、募金活動期間が地域によって異なる場合があります。ご理解・ご協力をお願いいたします。

社会福祉法人 半田市社会福祉協議会 半田市雁宿町1-22-1 瀧上工業雁宿ホール(半田市福祉文化会館) TEL.0569-84-2324

この広報紙は共同募金の配分金により作成しています。 2025.10



半田市の赤い羽根共同募金

- ① 自分の住んでいるまち(半田市)を「良くする」ために使われます
- ② 半田市にお住まいのすべての人たちの暮らしのために役立てられます
- ③ 災害発生時は「災害ボランティアセンター」の運営費として使われます

毎年多くのご協力をいただいている赤い羽根共同募金。みなさまの善意が、地域をささえる大きな力になっています。実際にどのように役立っているか、その一例をご紹介します。

募金活用例① 車いすのまま、一緒にお出かけできる。



地域には、高齢や障がい、病気により外出に不安を感じる人たちがいます。「病院や買い物に行けない」「家族に負担をかけてしまうのでは」そんな気持ちが、外とのつながりを細くしてしまうことも。

「病院に行きたいけど、車いすの母を連れていけないんです」そんな声をきっかけに長年実施しているのが、「福祉車両貸出」の取り組みです。

「自分たちで病院に連れて行けた!」「花見に行けたんです!」そんな前向きな声が、地域に少しずつ増えてきました。

足を怪我しちゃって、どこにも出かけられない……。

お母さん、お花見行きたかったゆえ。

スロープ付きの車、お貸しますよ!

1

2

3

4

車いすのまま、乗車できます。

出かけられるって嬉しいね!

福祉車両貸出事業

半田市社会福祉協議会では、福祉車両の貸し出しを行っています。通院やお買い物、冠婚葬祭など、さまざまなお出かけにご利用いただけます。

車両は4台あり、昨年度は年間222件の利用がありました。運転はご家族で行っていただきます。操作説明も行いますので、初めての方もご安心ください。車両の維持管理に募金を活用し、みなさまのお出かけをささえています。

募金活用例② おにぎりから広がった、みんなの居場所



この子ども食堂は、長期休みに始めた学習支援の場で、おにぎりをふるまったことから生まれました。塩だけのおにぎりに子どもたちが感動し、「これくらいなら、みんなでちょっとやってみようか」と始めて以来、今も活動しています。

活動が続ける中で、当時小学生だった子が高校生になるなど、子どもたちの成長を見届けられることが大きな喜びとなっています。

「あのおにぎり、人生で一番美味しかったよ!」

ただの塩おにぎり。そんな風に思い出に残ってるんだって、ちょっと感動しました。

はじめは、何気なくふるまったおにぎり。

子ども食堂の立ち上げや運営、お手伝いします!

1

2

3

4

みんなで食べるとおいしいね!

これからも、地域の子どもたちを見守ってまいります。

市内11か所ある子ども食堂のひとつ、やなべっ子食堂に伺いました!

やなべっ子食堂

日時: 毎月第1日曜日
午前11時30分～午後1時
場所: NPO法人りんりん りんごびあ
(半田市岩滑高山町5-1)

インタビュー動画はこちらをご覧ください!

ふれあいいきいきサロン助成事業

「ふれあいいきいきサロン」は、地域住民が主体となって運営する交流の場です。高齢者向けの活動に加え、子どもを対象とした食事提供を行うサロンも広がっています。このようなサロンの運営費として募金を活用いただき、地域の実情にあった居場所づくりを応援しています。